

祝千五百号 ホトトギスの軌跡

創刊号
明治30年



100号



200号



300号



400号



500号



600号



700号



800号



900号



1000号



1100号



1200号



1300号



1400号

日本最古の俳句雑誌「ホトトギス」は、今年十二月で千五百号を迎えます。そもそも「ホトトギス」は、俳句革新に孤軍奮闘する同級生の正岡子規を応援するため、松山の柳原極堂が明治三十年に創刊しました。しかし経営難から極堂自ら東京での刊行を希望し、翌年虚子が子規の協力を得つつ、編集発行人となります。虚子の俳句理念「花鳥諷詠」は、以後年尾、汀子、廣太郎へと継承されました。百二十四年の歴史を刻み、今なお躍進中です。

本展ではこれまでの記念号に掲載された魅力溢れる表紙絵や裏絵、雑誌巻頭句等を紹介し、中でも小倉遊亀の表紙絵原画を一堂に初公開。「ピーマンでも枝豆でも、椿でも梅でも、あ、いいなと思つた時は、みな仏さんです。」と語つた、遊亀の暖かな眼差しに是非触れて下さい。

令和3年4月1日 木
———> 令和4年3月6日 日



公益財団法人 虚子記念文学館

〒659-0074 兵庫県芦屋市平田町8-22 電話(0797)21-1036/FAX(0797)31-1306

■休館日
月曜日（祝日の場合開館、翌日火曜日休館）
4月30日、5月6日、8月10日～16日、9月21日、9月24日、
11月4日、11月24日、12月27日～1月4日、1月11日、2月24日

■入場料
一般…500円 18歳以下…300円

■貸会議室有（要予約）
A 1,500円/時、B 1,000円/時、フルスペース 2,500円/時

■交通
阪急、阪神、JRの芦屋駅より阪急バスにて「テニスコート前」で下車。鶴塚橋を渡り、南西へ徒歩10分。
阪神芦屋駅西口より芦屋川西岸を徒歩15分。※駐車場有(4台)

